



高知県立牧野植物園 ミニゲート

高知市を一望できる人と自然のやすらぎ安らぎの空間

高知が生んだ「日本の植物分類学の父」牧野富太郎博士の業績を顕彰するため、博士逝去の翌年、1958(昭和33)年4月に高知市の五台山に開園した植物園。

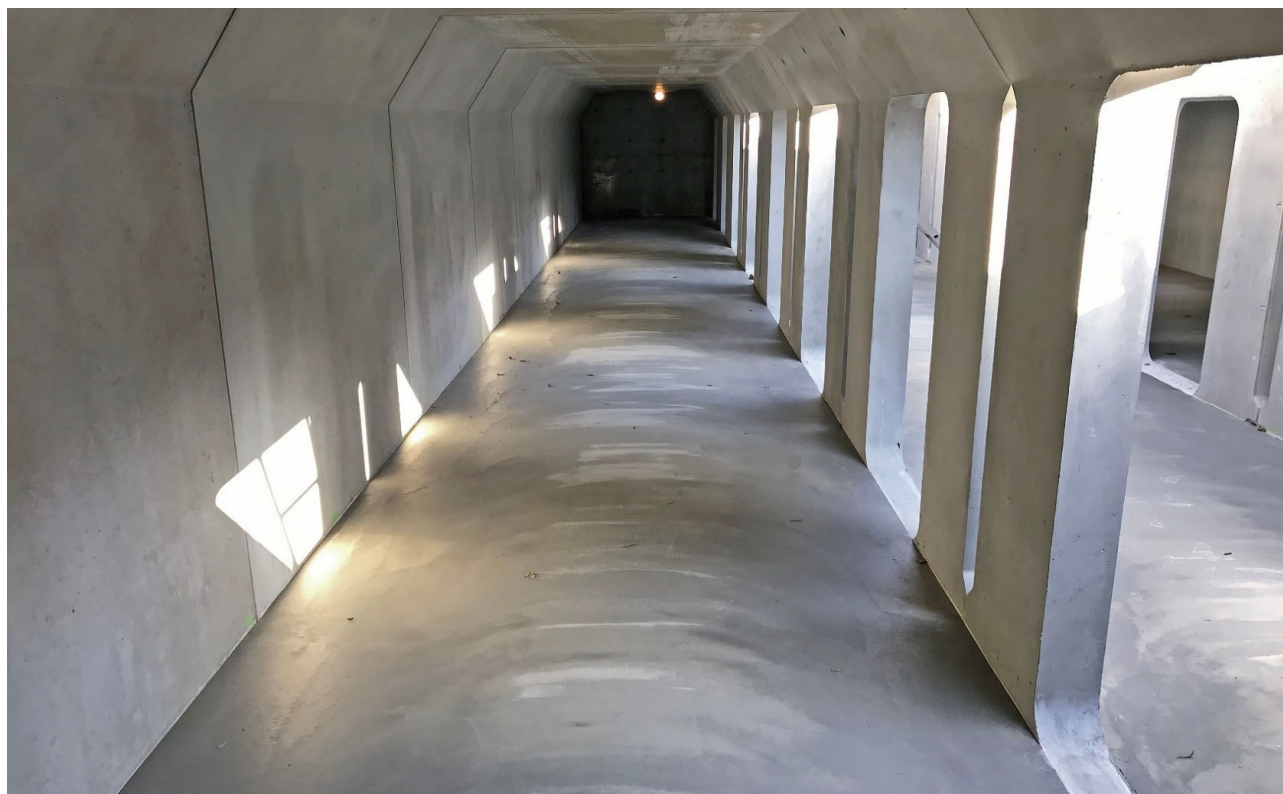
人と自然の関係を大切にしたい安らぎと憩いの空間に、施工性の向上を目的に開発された雨水地下貯留槽【ミニゲート】をご採用いただきました。

■ 土木



webカタログもご覧下さい





高知県立牧野植物園 ミニゲート



ミニゲート(自然流下式 雨水地下貯留槽)

側壁に開口部を持つ門型部材と頂版スラブをプレキャスト製品とし、インパート部を現場打ちするハーフプレキャスト構造の雨水地下貯留層です。内空高さは、1.0～2.0mに対応できます。

- 耐震性に優れています(レベル2地震動)。
- 設計条件は上載荷重10kN/m²なので、上部を駐車場・公園・グランド等に利用できます。
- プレキャスト部材を組み立てることにより、施工工期の大幅短縮と、トータルコストの削減を行えます。
- 自然流下式のためポンプ設備費および維持管理費が大幅に節約できます。
- 製品重量が5t未満で大型重機を必要としません。
- インパートコンクリートにより任意の勾配を設けることができます。
- プレキャスト部材の組み合わせで、いろいろな設置形状に対応可能です。
- 現場条件に合わせて内空高を変えることができ、経済的です。



(公社)雨水貯留浸透
技術協会 認定品

現場住所	高知県高知市五台山4200-6
施主名	高知県 林業振興・環境部 環境共生課
竣工年月	2019年3月

納入製品	ミニゲート H2000 端部ブロック 頂版スラブ*
数 量	端部ブロック 20個 頂版スラブ* 10枚